

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.07.No191

7月号

目次

第38回 一般社団法人北海道建築士会 全道大会(恵庭大会)へ“全員集合!”	1
実行委員会報告	5
〔地域貢献活動センター・総務・事業〕	
青年・女性の窓	6
〔青年委員会〕	
支部だより	7
〔北広島・苫小牧・中標津〕	
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会(恵庭大会)へ “全員集合!”

- 大会テーマ 「庭屋一如 (ていおくいちによ)」
- サブテーマ 花のまち 恵みの庭で…



第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

一般社団法人北海道建築士会恵庭支部 支部長 **水間 幸彦**

第38回 北海道建築士会全道大会は、恵庭市で開催されることになりました。

地域経済は、依然として厳しい状況にあり、会員の考え方も多様化している中で建築士会の活動を今後とも継続して行くためにも、この大会の準備や会合等を通じて若い会員が積極的に取り組むなど今後の恵庭支部の新しい基盤づくりと捉えるとともに、恵庭支部の設立50周年の節目に併せて全道大会がここ恵庭で開催されますことは誠に喜ばしい限りであります。

この大会を通して、全道の建築士の研修や交流はもちろんのこと、私達建築士が社会へ関わることにしても大いにアピールして参りたいと考えております。

恵庭市は、札幌市と千歳市とのほぼ中央に位置しており、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土をもつまちです。市街地を一步離れた恵庭溪谷は「白扇の滝」や「ラルマナイの滝」などが点在し、観光スポットとして市民主導による花のまちづくりが盛んで「ガーデニングのまち」としても全国的に知られるようになりました。

今大会のテーマである「庭屋一如」は、庭と建物がひとつになった生活空間を表しており、人が自然とともに生きる中で、自然から学び、あるべき姿で存在する「建物(建築)」の考え方です。

「花のまち 恵みの庭」に多くの仲間が集まり、自然との共生を改めて考える中で、これからの建築のあり方やまちづくりへのヒントを見つける機会にしたいと思っております。

どうぞ、全道各支部の皆さん! 恵庭に集い大いに語ろうではありませんか。

是非とも、たくさんのお参加を心よりお待ちしております。

[大会プログラム]

月 日	時 間	開 催 内 容	会 場	
9月20日 (金)	13:00~13:30	青年サミット 受付	黄金ふれあいセンター	
	13:30~17:30	青年サミット テーマ:『未来につなげる まちなみづくり』		
	18:30~20:30	懇親会		
9月21日 (土)	11:00~12:00	来賓・大会参加者受付開始	恵庭市民会館 1階「大ホールホワイエ」	
	12:00~13:00	昼食	恵庭市民会館 3階「中ホール」	
	13:00~15:00	A分科会(女性委員会)	恵庭市民会館	2階「視聴覚室」
		B分科会(まちづくり委員会)		3階「中ホール」
		C分科会(青年委員会)		2階「大会議室」
		D分科会(情報委員会)		2階「中会議室」
15:15~16:40	大会式典	恵庭市民会館 1階「大ホール」		
17:00~18:20	基調講演	恵庭市民会館 1階「大ホール」		
18:30~20:30	懇親会	恵庭市民会館 3階「中ホール」		

分 科 会

A分科会 素材～魅力的な庭と外構～恵庭編

女性委員会

恵庭は市をあげて花のあるまちづくりを行っています。雪に閉ざされる期間の長い北海道で、花を楽しむ期間は短いですが、市民は庭づくりやその鑑賞を楽しんでいます。

A分科会では外構材としての北海道の「素材」を取り上げ、採用例や施工方法、維持管理などを学び、建物と調和する庭づくりや外構の手法を考えたいと思います。

B分科会 「まち ^{NIWA}庭.com」

まちづくり委員会

恵庭市は、札幌と新千歳空港のほぼ中間に位置し、交通アクセスの良さから工場などの企業進出が盛んです。近年は愛好家が始めたガーデニングが大きな広がりを見せ、行政の環境緑化への後押しもあって、観光客が全国からガーデニングを見学に訪れる「花のまち」としても知られています。

「花のまちづくり」は市民だけではなく企業にも浸透しており、積極的にまちづくりに取り組む企業も増えています。中でもサッポロビール北海道工場は、恵庭への移転時から庭園による工場緑化や、庭園と一体となった伊東豊雄氏設計のレストランなど、環境への配慮と省エネ、雇用などトータルで取り組みを進める事で産業観光にも一役かっています。

B分科会のテーマにあるcomは、company（会社・企業）のcomであり、community（地域共同体）のそれでもあります。

まちと地域、地域と企業、企業と屋外環境といった構図をサッポロビール北海道工場の見学を通して実感してみたいと思います。まちと企業との関係は・・・さて？

C分科会 庭のある生活 — 人と家と庭のより良い関係 —

青年委員会

「住居の周りに樹を植えることは最も大切なことである」

これは平安時代に書かれた日本最古の庭園書「作庭記（さくていき）」の中の言葉です。古来より人々は庭に樹木や草花を植え、それらの植物は人々の生活に彩りを与えてきました。

そして現在、閉鎖的な社会環境を背景に再び「庭」が見直されつつあります。昨今のガーデニングブームは人と自然とを結び合わせるだけでなく、人と人をつなぐ架け橋となっており、またそれぞれの庭は地域のランドスケープの形成という公的な役割も果たし、美しい庭が続く町並は町のシンボルとして皆に愛され親しまれています。

C分科会では、人の暮らす家とそれを囲う庭が形成されて町並みができることを踏まえ、建築士として、日本有数のガーデニングシティ「恵庭」で、今一度「庭」について考えていきます。

D分科会 カンタン！つながる！34のわ in えにわ ～チャレンジ34支部のネットワーク～

情報委員会

支部の情報発信の現状は、ホームページを開設した支部は13支部ですが、現在も更新されている支部が5支部となっており、継続の難しさを感じています。また、支部便りを発行し「北海道建築士」に同梱しているのは6支部ですが、全道に対する情報発信ではありません。

今年はブロック会を運用していく始まりの年でもあり、各支部間の情報の共有が求められてくるのではないかと思います。その中、「h-ab.net」の支部情報を活用させるにはどうしたら良いのか、ディスカッションできればと思います。

基調講演

家と庭で“家庭” 笑顔と会話が満ち溢れる“庭造り”



講師：(株)石原和幸デザイン研究所 代表 石原 和 幸

庭園デザイナー。22歳で生け花の本流『池坊』に入門。以来、花と緑に魅了され路上販売から店舗、そして庭造りをスタート。その後、苔を使った庭で独自の世界観が国際ガーデニングショーの最高峰である「英国チェルシーフラワーショー」で高く評価され、2006年から異部門で史上初の3年連続金メダルを受賞した。

続いて2010年、2011年とショーガーデン部門で銀メダルを受賞。そして2012年はオリンピックロンドン大会開催の前にアーティザンガーデン部門で金メダルを受賞し、さらに部門内1位に贈られるベストガーデン賞と併せてのW受賞を果たした。

また、日本の玄関口でもある羽田空港（第一ターミナルビル内）に受賞作品「花の楽園」を再現し、日本の風景の美しさをアピール。全国で庭と壁面緑化事業を展開し、環境保護に貢献すべく活躍中。／1958年長崎県生まれ。55歳

青年サミット

『未来につなげる まちなみづくり』

テーマコメント

今大会のメインテーマである「庭屋一如」。

庭と建物が一体となり、調和がとれているさまをいいます。

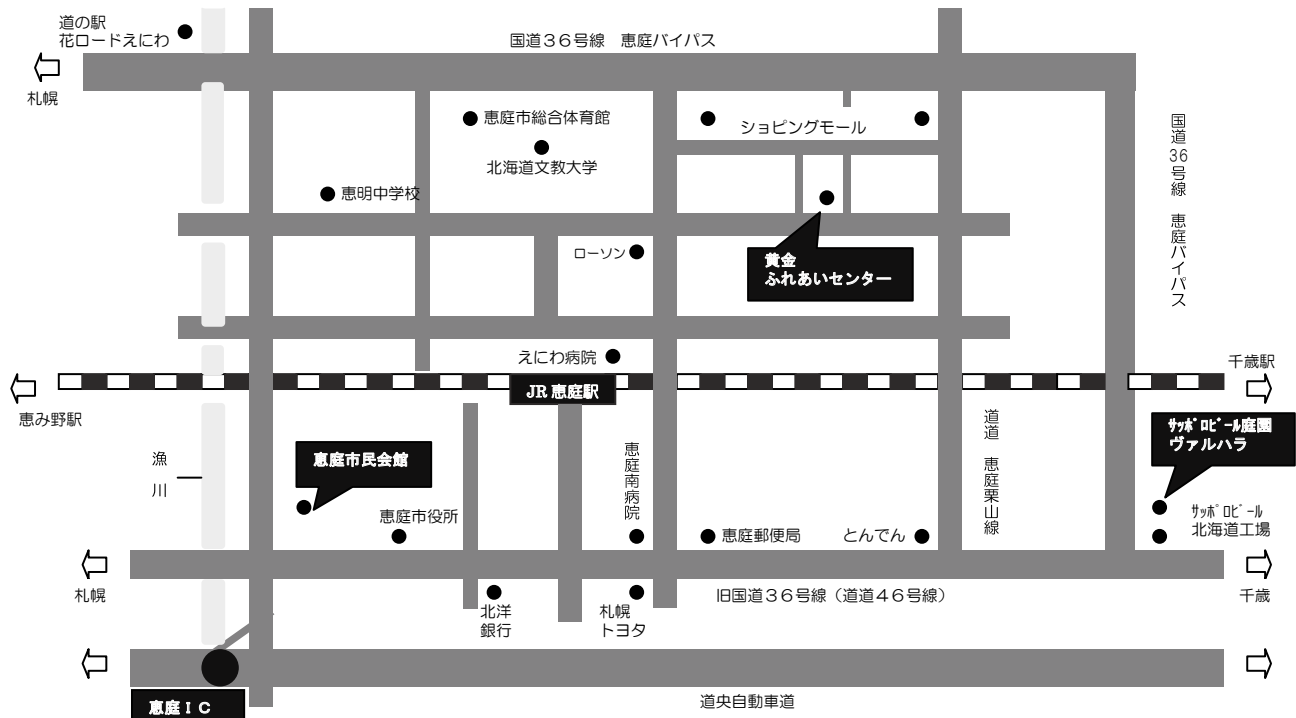
日本には、京都などの「歴史的なまちなみ」があり、パリなどには歴史的な建物が並ぶ、石造りの「ヨーロッパのまちなみ」もあります。これらは、とても美しく未来永劫残していきたいものと、多くの人たちが感じることでしょう。では、最近の私たちの周りのまちなみはどうでしょうか。個々の住戸がデザインを競うあまり、魅力に欠ける住まい・まちづくりをしているように感じてしまうのです。このままではいけない。未来に残せないと思いませんか？

市民主体による花のまちづくりが盛んな恵庭で、市民の声を聴きながら、「庭と建物の関係」を「まちなみと建物」と捉え、未来により良いまちなみを“残し・つなぐ”ために、私たち「青年建築士」が、今何をしなければならないか、皆で話し合い成果を見出す青年サミットにしたいと思えます。

プログラム

- 13:00 ~ 13:30 ■ 受付
- 13:30 ~ 14:00 ■ 挨拶・説明
- 14:00 ~ 15:30 ■ アンケート聴取
(移動込)
- 15:30 ~ 15:45 ■ 休憩
- 15:45 ~ 16:30 ■ ワークショップ
- 16:30 ~ 17:25 ■ 発表
- 17:25 ~ 17:30 ■ 総評
- 18:30 ~ 20:30 ■ 懇親会

第38回全道大会（恵庭大会）会場ご案内



黄金ふれあいセンター
恵庭市黄金南5丁目11番地1
TEL (0123)32-2081

サッポロビール庭園レストラン“ヴァルハラ”
恵庭市戸磯541-1 サッポロビール北海道工場内
TEL (0123)32-2081

恵庭市民会館
恵庭市新町10番地(市役所隣)
TEL (0123)33-3171

第38回 (一社)北海道建築士会全道大会 (恵庭大会) 参加申込書

	所属支部名	支部
ふりがな	ふりがな	
氏 名	同 伴 者	
住 所	〒 - TEL () - FAX () -	
勤 務 先	〒 - TEL () - FAX () -	

月 日	行 事 項 目	参加行事に○印を記入		参加料・代金 /人	金 額	備 考
		本 人	同 伴 者			
9月20日(金)	青年サミット			/	/	
	青年サミット懇親会費			5,000円		
9月21日(土)	大会参加費			4,000円		
	A分科会					
	B分科会					
	C分科会					
	D分科会					
	基調講演					
	大会式典					
	昼食 (弁当)			1,000円		
	懇親会			5,000円		
■ 各支部への申込締切りは8月20日(火)を厳守願います。				合計金額		

上記のとおり、関係費 円 を添えて申し込みます。

平成 25 年 月 日

[備考]

- ◎大会参加費は、大会参加者全員に納めていただきます。ただし、会員外の同伴者は免除いたします。
- ◎関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。
- ◎申し込みの取り消し及び変更は、9月2日(月)までとし、9月3日(火)以降の取り消しは返金できませんので、ご了承ください。
- ◎申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可)

■大会の宿泊については、各自でお手配ください。

地域貢献活動センター委員会



委員長
佐藤 芳則 (苫小牧支部)

5月24日、第3回地域貢献活動センター委員会を開催しました。議題は、①宗谷支部申請の活動助成について、②第38回全道大会(恵庭大会)展示パネルの作成、③ホームページ掲載の写真等の選定、④リーフレットの改訂です。

①今年度は、1月7日から9月30日の期間設定で募集をしていますが、宗谷支部から「宗谷管内の小学生による絵画コンクール「ぼくの・わたしのここ一番」という事業が申請されました。児童の創作活動を通じて想像力を高め建設産業への夢を広げてもらうと共に、安全・安心な社会を造る建設産業の重要性・魅力を広く市民にアピールするという目的で、「ぼく・わたしの町で一番好きな、一番自慢できる、一番欲しい、〇〇が一番」など、自由に考える「一番」の建物を宗谷管内の全小学生を対象に募集し、優秀作品を駅前再開発ビルに展示し表彰するという内容です。委員会の選定基準に合致し助成することにしました。

②全道大会でパネル化する事業を選定し作成準備を始めました。

③今まで助成してきた事業がホームページ上で閲覧できるよう、その構成を検討していきます。

④法人名や募集期間等が変わったので、全道大会で配布できるようリーフレットを改訂します。

地域貢献活動センターは、住民主体の地域づくりと建築士を結びつける活動に対し支援を続けて参ります。

皆さんに相応しいパターンの「地域貢献活動」を提案して頂ければ幸いです。

応募をお待ちしています。

総務委員会



副委員長
西岡 誠 (札幌支部)

総務委員会に副委員長として加えていただき、1年余りがたちました。この間に代議員選挙、一般社団法人化と建築士会も大きく変わりました。私自身、どのように建築士会にかかわり、どのような貢献ができるのかを模索する年でもありました。

その中にあり、会員数減少の歯止め、新規会員の増強は、建築士会全体の命題であるとともに、総務委員会が主としてかかわる大きな議題でもあります。

私自身、建築士会は、建築士として会員相互の親睦を高めるとともに、広く道内の他地域の状況を認識するうえでの情報交換の場であると考えております。他を知ることにより、己を知ることでしょうか。

また、建築士会には、建築士の技術向上を図る使命があるとも思っています。総務委員会では建築士会の役割を踏まえたくて、建築士個人々人に向け、どのようなアプローチをとることが会員増強につながるのか議論しております。皆様におかれましてもよいアイデアがあればお知恵をお借りしたいと思っております。

2月には総務委員会を含めた合同懇親会がありました。その中では建築士会の今後は熱く語る、語らいの輪が多く見受けられました。こういった熱い思いを、まだ会員となられていない建築士の皆様に届けたいと思っております。



事業委員会



委員
秘川 正人 (旭川支部)

事業委員会では大きな事業として、建築技術講習会のテキストづくりとその講習会の開催と一級建築士受験者講習会があります。この2つの講習会は今年度から開催方法や時期を変更しました。

建築技術講習会は昨年度まで全て本部が主管して開催してきましたが、今年度より本部開催は札幌での一回とし、あとは支部が開催するように変更しました。そうすることで支部の都合に合わせて開催することができ、会員が集まるイベントに合わせるなど、多くの会員の方に受講して頂けると考えました。テキストの内容は前回の事業委員会からの報告でも掲載しましたが、建築士ならびに建築業に携わる様々な職種の方に役立つ内容になるように事業委員会で独自に編集したものですので、積極的にこのテキストを活用し講習会など支部の活動に役立てて頂きたいと考えています。

一級建築士受講者講習は、昨年度までは直前講習として、前年までの試験の傾向や現在の動向を踏まえ各科目のポイントを押さえた講習により、本試験で各科目+1点2点の加点が出来るようにと開催してきましたが、今年度より本試験(7月28日)の2ヶ月前の5月下旬に講習会を行い、直前の7月14日に模擬試験を行うという工程に変更しました。講習自体は昨年と同じように行いますが、2ヶ月前に行う事で復習や反復学習する事ができ、より確実に点数が取れるようになると思われました。そして直前の模擬試験で自信を付けるか?弱点を知る事で、残り1週間の勉強方法の参考にしてもらい、ひとりでも多くの方に合格して頂きたいと願っています。

私たち、事業委員会はこれからも講習会等の事業を通じ、士会会員の皆様の知識・技術・技能の維持向上、並びに建築士を目指す方達のサポートをしていきたいと思っております。

青年委員会

青年建築士の集い報告

道南ブロック長
森 勝利

5月18日（土）、天候にも恵まれる中、会場となった門別競馬場には、およそ70名の青年建築士が参集しました。基調講演では、自



らも生産者であり、かつ、馬主でもあり、道議会議員として、日高の活性化、とりわけ、軽種馬産業の活性化に強い思い入れを持って活動されている藤沢澄雄氏から、今風に『そうだったのか！藤沢澄雄の学べるニュース～ホッカイドウ競馬の歴史、現在、そして未来～』と題して、建築士には馴染みの薄い話題をたいへん分かりやすく説明いただきました。将来、馬主になろうと思った参加者もいたのではないのでしょうか。施設見学



では、(社)北海道軽種馬振興公社さんにご協力いただき、普段は見学できない屋内調教用坂路コースを見学しました。時間が限られていたため、全走路を往復することはできませんでしたが、馬の気分になって駆け上がってみた参加者もいたようです。基調講演、施設見学を踏まえた上で、今後の「日高」のまちづくりに活かせる一工夫を話し合ってもらったワークショッ



プは、普段はジンギスカンを楽しむスペースとなっているグリルハウス等を利用して行いました。3班から結果を報告していただき、吉木副会長に総評をいただきましたが、これらの意見等については、何らかの形で今後のまちづくりに活かしていきたいと考えております。懇親会は、ガラッと雰囲気



変えて、ホッカイドウ競馬の勝ち馬予想にチャレンジしてもらいましたが、歓声があがる場面もあり、楽しんでいただいたものと思っていますし、何より、当日、本州から駆けつけていただいた(公社)日本建築士会連合会の関青年委員長から、北海道の地元愛の大きさを強く感じさせられた集いであったと言っていたことをたいへんうれしく思いました。正・準会員合わせても青年が10名に満たない日高支部ではありますが、参加者に一定程度満足いただける集いを無事に終えることができたという達成感を胸に、今後、会員増強に取り組んでいきたいと考えています。



7月1日は建築士の日

委員長
針ヶ谷拓己

青年委員会では「7月1日の建築士の日」の一斉活動として、各支部で行われる建築士の日イベント等で、青年委員会活動のパネル展示をさせていただく予定ですが、それに先立ち、今年も建築士（会）のアピールを目的とした記念イベントを札幌で行います。昨年はチ・カ・ホ（札幌駅前通り地下歩行空間）で開催されましたが、今年は会場の広い、新さっぽろサンピアザ「光の広場」にて6月22日（土）・23日（日）に開催します（会誌発行時にはすでに終わっていますが・・・）。

「建築士のお仕事体験～7月1日は建築士の日～」をテーマに

- ・お仕事体験会
- ・建築設計実演
- ・建築何デモ相談
- ・建築士会活動パネル展示

を行います。お仕事体験会では、建築士のお仕事を体験した子どもたちに、お給料（独自の紙幣）を支払い、そのお給料を使って、会場内の駄菓子屋で買い物を楽しんでいただきます。具体的なお仕事は①理想のお家を描いてみよう②折り紙建築③ブロック玩具でまちづくり④お家の間取りを考えてみよう となっています。また、今年も、建築設計実演も企画しており、会場に集まったみなさんに、設計打合せから、ラフプラン・平面図・パース等の作成を、会場のスクリーンにてライブ中継しながら即興で実演するというにもチャレンジしようと考えています。

将来を担う子どもたちに「建築士になりたい」と思っただけのようなイベント企画を進めているところでもあります。



北広島支部

会員減少に妙薬は??

支部長

関川 修司



北広島支部の環境から紹介します。政令都市札幌市の東隣です。かつての石狩支庁管内は、札幌市を除いて、江別市、千歳市、恵庭市、広島町、石狩町、当別町、厚田村、浜益村、新篠津村の3市3町3村、覚え易い市町村数でした。広島町が北広島市に、石狩町が石狩市になり、厚田村、浜益村と合併し、5市1町1村となりました。ほぼ時を同じくして石狩支部5分会が、分離独立して6支部となりました。が、経済不況の煽り、公務員倫理規定の導入、民間確認検査機関の設立等々により、6支部が4支部に減り、各支部会員の減少が続いています。当支部も51人の会員から現在は、21人となっています。

高齢化です。この規模ではかつて行っていた事業も出来ず、イベントも出来無い状況です。

建築士会に魅力が無くなったと言うことではないと思います。私が建築士会に入会した時でさえ、きちっとした魅力は無かった。

現在、私は5つの会に参加しています。どんな会でも同じだが、その会の事業に参加して、人を知り、何かしらのコトを知った時、入会していて良かったことを感じています。これが、どれほど自分の仕事に役立ったことだろうか。還暦を5つも廻った者の実感である。

建築士会以外の団体とも連携し、入会して人を知って、仕事に生かして良かったと感じられる会—元気な会を取り戻したい。

苫小牧支部

60周年を迎え

支部長

北村 啓



昭和28年5月に設立された北海道建築士会苫小牧支部、早60年を迎える記念の年にこの度苫小牧支部の支部長として任を受けました。紙面をお借りしご挨拶申し上げます。

平成20年10月苫小牧で行われた全道大会のエンディングで、「建築関係を取り巻く厳しい状況をこの建築士会の会員の力を持って乗り越えていきましょう」と宣言させて頂き、改めてその実践に力をかけて行きたいと思い進めております。

本年は60周年記念の年にあたり地域への貢献と支部活動の活性化を中心とした計画を各委員会を中心として計画し実施しております。その第一弾として市民植樹祭に参加をしました。会員と家族を含め20人の参加となり(写真)市民活動を盛り上げることが出来ました。次は「建築士の日」事業として清掃活動と親睦ゴルフ大会を開催いたします。

会員の技術力を高める活動・事業を中心に、資格を持った技術者としての社会貢献と団体力を生かした地域貢献を目指して活動を進めているところです。

苫小牧支部でも会員の減少や賛助会員離れが進む中で課題も多く在りますが、全道の会員の知恵をお借りしながら苫小牧支部の活動を進めて行きたいと思っております。



中標津支部

近況 なかしべつ

支部青年委員長

佐藤 主計



私が入会した当時、120名ほどはいたであろう支部会員も今は70名ほど。青年も今や23名となり、ついに20代がいないという状況の中、昨年度からついに40歳卒業という枠組みで活動してきた青年制度が廃止されました。かといって顔ぶれが変わったということもありませんが、楽しく活動しております。

ここ数年では「じどうかん祭り」なるものが青年委員会の主活動となっております。児童館の児童を主に、それを見守る異業種団体によって構成された実行委員会が運営しており毎年2,000人以上の参加者、来場者が集うイベントです。昨年は中標津町からの委託を受け木製屋内遊具を子供達と共に企画・設計・施工をし、町内の各児童館に寄贈しました。製作したのは子供が6人ほど入れる木製の小屋に色付けした部材でデコレーションしたモノでした。ケンカをした後など、気分を切り替えるために、籠もるのにちょうど良いのだとか。作業も途中で飽きるのかと思いきや、4時間もトントン叩きまくり、我々が休憩を申告したような次第。子供の集中力には驚きました。デザインも我々が予想もしない設計図を描いてくる子もおり、この子達の中に未来の建築士がいるんだなと感動しました。建築士のなり手が減少の一途をたどっている我が地域も、将来なりたい職業は「建築士!!」という子が増加し、いつか彼らが建築士会に入会し、「あの小屋造りの時に建築士になろうと思ったんです・・・」なんてドラマおきたらいいですね。

2013年 女性建築士の集い

避難所運営ゲーム「HUG」研修会 〈建築士として私達ができること〉

東日本大震災を教訓に地域防災力向上を図ろうと各地で様々な取組が行われております。いざという時の為に防災訓練を行う地域も増えていますが、避難所について考える機会は、まだまだ少ないのが現実です。

もし、自分自身が避難所で生活をしなければならなくなった時、更に運営に関わる事になった時、どんな事が待ち受けているのか、あなたは想像できるでしょうか？

今回の「集い」は「避難所運営ゲームHUG」を通して避難所運営を疑似体験する事により、避難所で起こる出来事の解決方法や避難所そのものの抱える問題、また日頃から何をどう備える事が大切かを学ぶ事を目的とした研修会を行います。

当日は講師及びコメンテーターとして有珠山噴火を行政の立場で体験し、学校で防災についてのご講演を多数行っておいでの国土交通省北海道開発建設部事業振興部調整官 吉井厚志氏にお越しいただき、災害時の実態などについても、ご講演頂く予定です。

この機会に防災について共に考えましょう！皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：2013年9月22日(日) 9：30～15：00

☆第38回全道大会の翌日

場 所：札幌エルプラザ 4F 大研修室
札幌市北区北8条西3丁目

参加費：無料

定 員：60名

申込先：参加者氏名・所属支部・連絡先を添えて下記
にお申込みください

北海道建築士会事務局（担当：秋吉）

TEL：011-251-6076 FAX：011-222-0924

E-MAIL：akiyoshi@h-ab.com

締 切：2013年9月10日

（定員に達した場合は締め切ります）

※昼食は防災食をご用意いたします。

編集後記

連休明けの5月18日、日高支部で青年建築士の集いが開催されました（当号の青年建築士の集い報告をご覧ください）。

例年ですと、とうに桜が散っている頃なのですが、当日は、静内二十間道路の桜並木がまさに365分の1日の満開となりました。参加者に強運の方がおられたようです。

せっかくの集いに便乗して青年OBに声掛けして、「おじさんおばさんの会」を開催しました。思い出話に花が咲きましたが、現青年と熱い未来の夢も語りあえた有意義な一夜となりました。記憶は途中から消えてましたが……

情報委員会 山下 聡

CPD認定プログラム（6月認定）

◆実践BIM講座in札幌「BIMが設計にもたらすもの」

《日程及び会場》7月26日(金)

①13：30～16：00 ②17：00～19：30
かでの2・7（札幌市）

《単位数》 2単位

《問合せ先》（一社）北海道建築士会札幌支部

TEL 011-232-1843

◆第2回道央ブロック協議会

「ランドスケープしよう。景観まちづくりの意味と実践」

《日程及び会場》7月13日(土)

13：30～16：00
かでの2・7（札幌市）

《単位数》 3単位

《問合せ先》（一社）北海道建築士会青年委員会

TEL 011-251-6076

各支部からのお知らせ

《函館支部》 TEL 0138-27-6858

・2013建築技術セミナーのご案内

「免震建物の現況と東日本大震災時の免震効果のご紹介」

7月19日(金) 13：30～ サン・リフレ函館

・第34回 青函絵交流会（函館開催）

8月31日(土) 10：45～16：15

函館市（森町～鹿部町～南茅部地区）

《苫小牧支部》 TEL 0144-38-8178

・60周年記念事業 ゴルフコンペ

7月13日(土) 千歳空港カントリークラブ(苫小牧市植苗)

締切迫る!!

平成25年度

（一社）北海道建築士会会員作品の募集

応募作品のすべてを本会ホームページに掲載します。その中から4店程度を選考し「北海道建築士」に掲載します。

応募対象

- ①対象建物 平成21年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員（応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります）
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切 平成25年7月31日(水) 必着

※その他、応募要項等は、ホームページ、又は本部事務局までお問い合わせください。

情報委員会委員長／岡田 隆

副委員長／三浦 浩・天城 秀典・神田 光英

委員／森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡

用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.191号

印刷 平成25年6月／発行 平成25年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル

電話 (011) 251-6076番

URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目

電話 (011) 811-7151番